



青森ねぶたができるまで ～女性ねぶた師の挑戦～

12年の修行を経て2023年2人目の女性ねぶた師デビュー
伝統・文化・慣習・SDGsへ果敢に挑戦した一年に密着！

開催期日：2023年9月17日（日）15:00～16:30

参加費：¥2,000（税込）

青森県産りんごのスイーツ＋ドリンク1杯付

講師：塚本 利佳さん（ねぶた師）

松谷 潤一さん（青森山田学園ねぶた会事務次長）

*ご参加人数に限りがあるため、先着順にて受付させていただきます(定員32名)。
*お申込み多数の場合、相席となる場合もございます。あらかじめご了承ください。



塚本 利佳さん



松谷 潤一さん



青森ねぶたができるまで～ねぶた師の一年～

- ① 題材と下絵・下ごしらえ
歌舞伎の名作の場面・歴史物語から選ばれる。
下絵はねぶたづくりの要と言われ設計図そのもの。



- ② 骨組み・電気の配線
角材で支柱を組み針金で形を作り
20Wから100Wの電球や
蛍光灯を1000個以上取り付ける。



- ③ 紙貼り
和紙を2500枚から3000枚貼り付ける。
当日の湿度等で接着剤の湯きが変化するため
長年の経験で約2週間で山車へ和紙を貼り付ける。



- ④ 書き割り、ろう引き
紙貼りを終えた純白のねぶたに墨で顔や手足を
書き込む。着色の前にパラフィンで縁取り色の
混濁を防ぐ。



- ⑤ 色付け
着色料は染料と水性顔料。筆やエアブラシで着色。
また、赤の大半は、ロレアル社にて廃棄予定で
あったアイシャドウをアップサイクルしたもの。



- ⑥ 台上げ・出陣
色付けが終了すると車のついた
台車に 40人～50人掛で載せる。
一年がかりで仕上げたねぶたの完成。

